

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者:友松知宏

1. 概要

地域分類	山陽道
歩行区間	スタート地点: 山陽本線三原駅(広島県)
	ゴール地点: 水島大橋西詰(岡山県倉敷市)
実施期間	平成28年06月05日(日)~8日(水)
全歩行距離	103.4Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー&記録	友松知宏	76歳	4日	8期
2		友松和子	76歳	3日	—

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	参加者	備考
1	6月05日	JR 米子発=倉敷=JR 山陽本線= JR 松永駅=タクシー=串の浜~尾道(和子と合流)~ JR 三原駅~尾道(友松と合流)~ 千光寺界限観光~JR 尾道駅=JR 松永駅~ホテル入館	14.2Km 13.6Km	全員 友松 和子 全員	ホテル長和島
2	6月06日	松永駅=タクシー=串の浜~越溝瀬戸~常石~内 海大橋~鞆ノ浦~鞆の浦観光=バス=安国寺下バ ス停(和子下車⇒ホテルへ) =福山商業高校~鞆港=安国寺下~ホテル入館	20.5Km 6.9Km	全員 友松	鷗風亭
3	6月07日	安国寺下=バス=福山商業高校 ~入江大橋北~東福山駅=JR=倉敷=米子 =タクシー=入江大橋北~JAFスチール~神島 ~神島外港~神島大橋~西大島漁港=タクシー= 笠岡駅~ホテル入館	5.2Km 22.1Km	全員 和子 友松	高松屋旅館
4	6月08日	笠岡駅=タクシー=西大島漁港~寄島~小原漁港 ~玉島大橋~水島大橋(高梁川)西詰=タクシー =16:30JR 新倉敷駅=倉敷=JR 米子駅	21.9Km	友松	

4. 参加費

(友松一人分計算)

交通費	J R	8,760円	
	バス	830円	
	タクシー	8,780円	18,370円
宿泊費			28,761円
飲食費			5,181円
その他	ロープウェイ、入場料、コインランドリー		1,120円
合計			53,432円

5. 地図



山陽道歩行全図 (赤線が歩き終わった区域)



今回の歩行区域

6. 歩行の詳細

6月 5日 (日) 雨⇒曇り

【友松】

5:35 J R米子駅＝倉敷＝08:15 山陽本線松永駅／友松下車。今夜の宿ホテル長和島に荷物を預ける。タクシーで串の浜へ行き、海岸沿いの細い村道を松永方面へ戻る。

柳津で県道にわかれ、市道を西進、南松永の埋め立て地のプラリンクロード1.5Kmを南下、橋を渡ると国道2号に合流。しまなみ海道入り口の尾道大橋をくぐると尾道に入る。

ほぼ同タイムで三原から国道2号を東進してきた和子とアーケード街長江口四辻で合流。

【和子】

小雨のなか三原駅を出発。J R山陽本線沿いに右手に瀬戸内海の雨に煙る風景を見ながら歩く。途中、糸崎神社で休憩。お宮参りで赤ちゃんを抱いてきた若夫婦がおられたので、一緒に赤ちゃんの成長を祈願した。

昼過ぎ、J R尾道駅に到着。雨が上がり、駅前ひろばでは、港まつりをしていた。アーケード街の長江口



出発点／串の浜

で友松と合流。

【友松】

手作りショップで石猫を買い、尾道ラーメン屋へ行き、醤油味大盛を食べる。
その後、ロープウェイで千光寺に上がる。頂上からは尾道の街を見下ろせ、絶景である。



尾道ラーメンつたふじ (20分待) 名誉美術館長おの道子さん (左)

尾道市立美術館に入り、市展の入選作展を鑑賞、ロビーで1時間昼寝。アート集落尾道イーハトーブ (理想郷) を観光、猫がたくさんいて、観光客の写真におさまっている。



イーハトーブの中心島の館



猫の細道



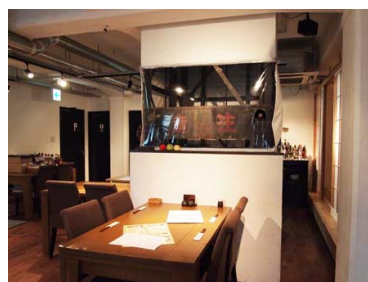
ツツジの甘い香りに包まれて

夕刻、尾道料理店「かき左右衛門」に入る。江戸時代の廻船問屋の建物をそのまま使い、一階はバー形式、2階はテーブル席で、2階に上がる。かなり高い階段で、フロアの中央部に昔のエレベータ設備を保存、当時の面影を残している。

時間がはやく、客もなかったので店長の小林さんとお話することができ、我々が日本の海岸線を歩いていることを知ると、下でレジをしている「ほのかさん」を呼んでくれた。聴くと夏休みに小学生を連れて、4~5日かけて百キロ歩いているとのこと、(メッセージ参照)。話が盛り上がったが、客が立て込み始めたのを機にお開きとし、尾道駅から松永へ戻った。



殻付きの生牡蠣、牡蠣フライ



当時のエレベータ設備跡



ほのかさんと店のまえて

6月6日(日) 曇

【友松】

昨日の出発点串の浜から南へ向かって歩く。8:35越溝瀬戸。

幅15mほどの水路であるが、川ではなく海峡である。橋を渡ると浦島。地形から推して、元は150mほど離れていたのを埋め立てたらしい。橋を渡った島側のクリーニング屋さんが詳しいとのことであったが、早朝で店はまだ閉まっていた。(注：瀬戸とは島と島(陸)の間の狭い海域を言う)

埋め立てられた箇所



越溝瀬戸の地図 水路=海峡、左が浦島、右が本土

9:40 県道389に出る。10:40 ファミリーマートで昼食。居合わせた男性と話をする。このあたり一帯は造船場が密集し、金網越しに組み立て中の工事現場が見える。昨日、部品工場を見たが、部品と言っても道幅をはるかに超える大きさで、話では、それらの部品はすべて船で運んでくるとのこと。それにしても大きい。しばらく歩き、内海大橋の下をくぐる。



常石造船所



内海大橋、向かいには田島

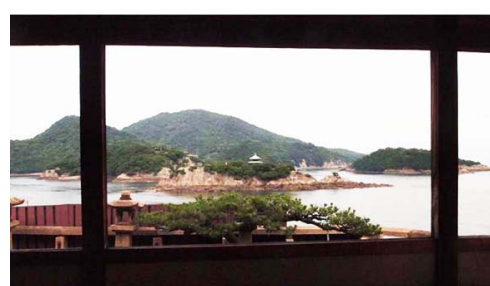
14:05 石畳の美しい鞆の浦に到着。岡本亀太郎本店(保命酒蔵元)で保命酒を試飲。坂本龍馬ゆかりのいろは丸展示館、江戸時代の迎賓館、福禅時対潮楼を見学。



鞆ノ浦の石畳の街並



岡本亀太郎商店の保命酒甕



対潮楼客殿からの眺め。正面が仙酔島

16:05 鞆港よりバス乗車、安国寺下で和子下車、ホテルへ。友松は福山商業高校まで乗り、そこから鞆港まで歩いて戻り、ホテルへ向かう。途中、「あんず村」があり、街路樹があんずで実がたわわになっている。L字型ステッキが役にたち、歩きながら収穫、エネルギーと水分補給になった。

宿は(私たちとしては)破格の一泊1万5千円。夕食のメニューにチョイスがあり、タイの兜煮とオコゼの唐揚げを選択。最高。

6月7日（火） 豪雨⇒曇り

7：50 ホテル発。バスで福山商業高校まで行き、そこから和子は入江大橋経由で東福山駅まで歩き米子に帰る。

【和子】

朝から本格的な雨。商業高校まえバス停で別れ、東福山駅を目指して歩く。二つ目の端（入江大橋）も雨のため下を向いて歩き、風景を楽しめない。コンビニで温かいコーヒーを飲み、ひたすら歩き、予定より早く駅に到着。10：51 東福山 JR 発、倉敷乗り換えて14：17 米子帰着。

【友松】

タクシーで入江大橋まで行き、次の目的地へ向かう。歩道が水に埋まって、まともに歩けない。あきらめてジャブジャブ歩く。大型トラックが遠慮会釈なしに頭から水の塊をぶつけてくるので、菅笠に手をかけ「ハッ！」と身をかがめ、水をやり過ごす。問い合わせ確認したはずの道が工場のフェンス内で歩くことができず、迂回。1時間以上ロス。

13：20 神島（こうのしま）に到着。神島はかつて島であったが、笠岡湾の広大な面積が埋められて、いまは本土の一部になっている。午前中には神島の手前（内浦）をショートカットするつもりであったが、雨も上がったので当初予定通り山越えし、外浦へ抜けることにする。標高差百メートル。峠にバス停。デマンド式共同乗り合いバスで、まるでトトロのバス停。待っていたらネコバスが来そうである。

14：45 外浦港到着、乗船場の待合室で休ませてもらう。他に客もいないので、切符売り場の柳本ヒサ子さんとおしゃべり。楽しい人で、話しているうちに疲れが消えてしまった。

峠



神島／黄線を登り、峠を越える



峠の（トトロの？）バス停

17：50 西大島漁港、タクシーで笠岡駅へ。駅前の高松屋旅館入館。

旅館は居山さん親子で頑張っておられ、インターネットに大勢が好意的な書き込みをされており、わたしも一泊2食をお願いした。息子さんが料理の腕をふるう。特に朝食は、6500円の宿代では考えられないほどの味とボリューム。



高松屋旅館のお二人



一泊2食6500の朝食

6月8日(水) くもり・晴

7:40 タクシーで出発、8:10 西大島漁港より歩行開始。今夜7時から合唱の練習があり、時間に間に合わせるためにひたすら歩く。10:50 早崎南のローソンで昼食。13:30 沙美海水浴場で休憩。今回初めてリコーダーを吹く。

見ると、200m沖を正体不明の舟らしきものが往復している。どうやら立って漕いでいるらしい。

15:10 玉島大橋下の自動車修理工場で、国道398(水玉ブリッジライン)の高梁川までの道程を訊くと丁寧に教えてくれ、時間内に歩けそうなので、新倉敷へ行く計画を変更。高橋川/水島大橋まで歩くことにする。16:05 高梁川到着。タクシーを呼び、新倉敷駅に出る。計画より20分まえの岡山行きに間に合い、19:20 米子帰着。



沙美海水浴場(沖の不思議な舟)



終点/水島大橋

7、メッセージ

2016.6.5 広島県 尾道市 かき左右衛門
アルバイト ほのか☺

まず、本日はご来店誠にありがとうございます。
私も夏休みに尾道市内を四泊五日かけて
小学生と一緒に100キロ歩くというボランティアを
しています。同じ100キロ(あるいはそれ以上!?)
歩く人同士、歩く時間、場所は違えど
一緒にがんばっていきましょう!!

尾道料理店かき左右衛門の「ほのかさん」のメッセージ

8、その他

最終日、西大島地区を歩いていると、道のわきに2本の柱にしめ縄を張り巡らせた場所に出遭った。

しめ縄の奥に6~7mの高さの岩があり、その上に20cm径の石の球が置かれている。球は日輪の象徴で、神を表していると考えられる。神がおられる聖域である。出雲や沖縄の聖域との共通性があり、私は沖縄を源流とする、神の道が瀬戸内や山陰に繋がっているという仮説をもって、沖縄や瀬戸内の島を歩いており、その証になるように思われ興味をそそられたが、時間に追われているため、写真に収めるにとどめ、改めて出直そうと思っている。報告書のボリュームに制限があり、別途まとめることにする。

以上